

第4部 社 会 教 育

第4部 社会教育

1章 社会教育行政の方針と重点

1 方針

県民が、自己の向上を目指して生きがいのある充実した生活を送るとともに、豊かで住みよい地域社会を形成することができるよう、学びを生かしつながりをつくり出す社会教育の推進に努める。

2 重点

(1) 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

- ア 地域学校協働活動の促進
- イ 地域が支えるキャリア教育の充実
- ウ 子どもの読書活動の充実
- エ 家庭教育支援の充実
- オ 青少年の体験活動の充実

(2) 活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成

- ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成
- イ 次代の地域を担う若者の育成
- ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援
- エ 多様な働き方を可能にする学び直しの機会の充実

(3) 生涯を通じた学びと社会参加の推進

- ア 高齢者や障害者を始めとする多様なニーズに応じた学びの機会の充実
- イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援

(4) 社会教育推進のための基盤整備

- ア 社会教育推進体制の充実
- イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進
- ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上
- エ 社会教育関係団体等の活動の支援

※人は青森県にとって「財（たから）」であるという基本的な考え方から、ここでは「人材」を「人財」と表しています。

2章 事業の概要

1節 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成

- ア 地域学校協働活動の促進
- イ 地域が支えるキャリア教育の充実
- ウ 子どもの読書活動の充実
- エ 家庭教育支援の充実
- オ 青少年の体験活動の充実

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業

【趣旨】

様々な立場から社会教育活動を支援していく人財を育成し、地域の活性化を図り、市町村の社会教育主事等の資質・能力の向上を図るため、首長部局、企業、NPO法人、地域づくり団体等の地域ネットワークを活用した事業の企画・実践を支援するとともに、地元企業等と学校のネットワーク会議等を実施する事業である。

【概要】

- (1) 社会教育主事の資質・能力向上と地域課題の解決【2地区 主管：関係教育事務所】

社会教育主事等が中心となり、首長部局、NPO法人、地域づくり団体等とともに、多面的な視点で、地域に関わる課題を解決したり、地域の良さを生かしたりするための事業を企画・実践した。

ア 三八地区（五戸町）

<地域課題解決スタートアップ研修会>

- 期日：6/21（火） ○会場：五戸町立公民館（五戸町） ○参加者数：14名
- 内容：事業説明、ワークショップ形式による協議

<第1回実行委員会>

- 期日：9/27（火） ○会場：五戸町役場（五戸町） ○参加者数：6名
- 内容：本事業の説明、目的の共有、各団体が抱える課題の明確化についての情報交換

<第2回実行委員会>

- 期日：10/16（日） ○会場：瑞穂館（五戸町） ○参加者数：16名
- 内容：桜沼公園現地調査後、桜沼及び桜沼公園を安全に利用するためのルール整備について

<第3回実行委員会>

- 期日：10/20（木） ○会場：五戸町立公民館（五戸町） ○参加者数：6名
- 内容：他団体等と公園利用のルール等、周知イベントについて

<事業の実践1>

- イベント「他団体との情報交換会」開催
- 期日：9/27（火） ○会場：五戸町役場（五戸町） ○参加者数：11名
- 内容：各団体の代表者による桜沼の保存・活用について、それぞれの役割や今後の取組について話し合いを行った。

<事業の実践2>

- イベント「現地調査」開催

- 期日：10/16（日） ○会場：桜沼及び桜沼公園（五戸町） ○参加者数：16名
○内容：桜沼公園内の沼の確認をするため、土地改良区と協力し、沼の水を抜き、沼内の生物の様子などを観察した。

<事業の実践3>

イベント「環境再生について考える」映画自主上映会の開催

- 期日：12/26（月） ○会場：五戸町立公民館（五戸町） ○参加者数：91名
○内容：環境保全に関する映画の自主上映会「杜人～環境再生医 矢野智徳の挑戦～」の開催

<地域課題解決フォローアップ研修会>

○2/15（水）に五戸町役場で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため開催を3/9（木）に延期し、オンラインにて開催した。

○内容：三八地区実行委員会「桜沼ワクワク実行委員会」による実践発表

イ 中南地区（平川市）

<地域課題解決スタートアップ研修会>

○期日：7/18（月） ○会場：平川市文化センター（平川市） ○参加者数7名

<第1回実行委員会>

○期日：7/18（月） ○会場：平川市文化センター（平川市） ○参加者数7名

○内容：スタートアップ研修会、本事業の説明、目的の共有について

<第2回実行委員会>

○期日：9/28（水） ○会場：平川市文化センター（平川市） ○参加者数9名

○内容：企画開催及び計画、役割分担について

<第3回実行委員会>

○期日：12/10（土） ○会場：平川市文化センター（平川市） ○参加者数：9名

○内容：企画開催後の振り返り、今後についての確認

<事業の実践1>

○期日：12/3（土） ○会場：平川市文化センター（平川市） ○参加者数：9名

○内容：地域製品の学び、メニューの構想

<事業の実践2>

○期日：12/4（日） ○会場：平川市文化センター（平川市） ○参加者数：9名

○内容：メニュー開発及びメニューの試作

<事業の実践3>

開発商品のプレゼン会の開催

○期日：12/10（土） ○会場：平川市文化センター（平川市） ○参加者数：9名

○内容：試作品のプレゼン実施及び販売品の検討

<事業の実践4>

開発商品のPR販売会

○期日：1/22（日） ○会場：イオンタウン平賀（平川市） ○参加者数：5名

○内容：開発したスイーツのPR販売会

<地域課題解決フォローアップ研修会>

○2/15（水）に平川市文化センターにて開催。

○内容：中南地区実行委員会「GlänZ」による実践報告及び質疑応答

(2) キャリア教育の推進 【6地区 青森県教育支援プラットフォーム各地区実行委員会への事業委託】

ア 地元企業と学校のネットワーク会議の開催

○内容：学校、企業、教育支援プラットフォーム、地域学校協働本部等の関係者同士がお互いに「顔の見える関係」を築き、地域の未来を担う人財像を共有するため、各地区において会議を開催し、学校が求める支援の内容や企業ができる支援内容をマッチングすることを目的に、関係者同士による意見・情報交換を行った。

※上北、三八地区は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止。

<東青地区>

○日時：11/17（木） 16:15～16:45

○場所：青森市立浪打中学校

○内容：職業講話に関して、地元企業及び実施校を交えて意見交換を行い、より効果的な支援の在り方や今後の事業の方向性等について話し合った。

<西北地区>

○日時：7/12（火） 15:30～16:10

○場所：五所川原市立第三中学校

○内容：職業講話に関して、地元企業及び実施校を交えて意見交換を行い、より効果的な支援の在り方や今後の事業の方向性等について話し合った。

<中南地区>

○日時：8/26（金） 14:00～16:30

○場所：弘前プラザホテル

○内容：青森県若年者就職支援センター（ジョブカフェあおもり）と連携して、中南地区高卒者雇用対策協議会の第2部として講演を実施した。

○講師：一般社団法人みらいねっと弘前 代表理事 鹿内 葵

※上記内容で講師による講演を予定していたが、当日諸事情により講師が欠席となったため、中南地区実行委員会委員長の竹内昭三氏が弘前城天守曳屋工事のその後と今後の見通しなどについて講話を行った。

<下北地区>

○日時：7/7（木） 15:00～

○場所：むつグランドホテル

○内容：むつ商工会議所と連携して、むつ下北地区高卒者雇用対策協議会の第2部として講演を実施した。

○講師：特定非営利活動法人青森ファイナンシャル・アカデミー

代表理事 菅原 伊佐雄

イ 「我が社は学校教育サポーター」への新規登録及び登録企業の周知

各関係機関と連携して情報収集しながら、新たに「我が社は学校教育サポーター」に登録する企業を新規開拓した。また、「我が社は学校教育サポーター」に登録されている企業について、さらなる活用を促進するために、登録企業の周知を学校等に対して行い、企業による教育支援活動の一層の充実を図った。

・我が社は学校教育サポーター 新規登録企業 12社（登録予定含む）

ウ 教育支援活動展示会の開催

企業による教育支援活動を県民に広く周知することを目的とした「教育支援活動展示会」を実施した。

<東青地区>

- 日時：11/9（水）～11/10（木）
- 場所：アウガ1階駅前スクエア
- 内容：東青地区11企業の活動をパネルで展示

<西北地区>

- 日時：11/14（水）～11/28（水）
- 場所：五所川原市役所 土間ホール
- 内容：西北地区5社の活動をパネルで展示

<中南地区>

- 日時：9/2（金）～9/3（土）
- 場所：ヒロロ3階 イベントスペース
- 内容：中南地区の企業・NPO等16社の活動をパネルで展示

<上北地区>

- 日時：12/26（月）～12/27（火）
- 場所：おいらせ町立木ノ下小学校体育館及びホール
- 内容：上北地区13社の活動をパネル展示

<下北地区>

- 日時：7/4（月）～7/6（水）
- 場所：むつ来さまい館 イベントホールA
- 内容：下北地区の企業・NPO等16社の活動をパネルで展示

<三八地区>

- 日時：9/25（日）
- 場所：八戸ポータルミュージアム はっち1階シアター1
- 内容：八戸市教育委員会が主催した学校図書ブックリサイクルフェアの会場で、昨年度の支援活動に関するパネルを展示

子どもの読書活動推進事業

【趣 旨】

「青森県子ども読書活動推進計画（第四次）」に基づき、読書に親しみ自主的に読書活動をする子どもたちを育成するため、子どもが読書に親しむ機会の充実、環境の整備・充実、理解と関心の普及・啓発を進める取組を展開する事業である。

【概 要】

(1) あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』

中学生・高校生の読書意欲の向上を図り、自主的な読書活動を促すため、県内の中学生・高校生を対象に仲間や友だちなどに薦めたい一冊の本の紹介文を募集し、優秀作品を表彰した。

また、優秀作品集（紹介文集）を36,000部、優秀作品周知ポスターを370部作成し、中学校、高等学校（特別支援学校中等部及び高等部を含む）、図書館等に配付した。

○募集期間：7/1（木）～9/16（金）

○応募数：4080点（中学生の部：38校1,142点、高校生の部：34校2,938点）

○優秀作品受賞者一覧

<中学生の部>

最優秀賞	八戸市立江陽中学校 3年 三浦 大雅 『六畳間のピアノマン』(安藤 祐介/著)
優秀賞	青森市立新城中学校 2年 千葉 結月 『ある晴れた夏の朝』(小手鞠 るい/著) 八戸聖ウルスラ学院中学校 2年 田中 未来 『カラフル』(森 絵都/著) 青森県立三本木高等学校附属中学校 2年 高橋 一花 『かがみの孤城』(辻村 深月/著) 青森県立三本木高等学校附属中学校 2年 小島 あやめ 『よるのばけもの』(住野 よる/著) 八戸市立江陽中学校 1年 工藤 彩葉 『かがみの孤城』(辻村 深月/著)

<高校生の部>

最優秀賞	青森県立青森聾学校 高等部3年 古川 瑛梨奈 『元女子、現男子。忘れない過去もある。けど、それを含めて僕だと気づいた。』 (木本奏太 かなたいむ。/著)
優秀賞	青森県立八戸商業高等学校 1年 川畑 悠 『君の睨顔をたべたい』(住野 よる/著) 青森県立七戸高等学校 3年 岡山 花梨 『往復書簡』(湊 かなえ/著) 青森県立浪岡高等学校 3年 奥瀬 蛍 『ママがもうこの世界にいらなくても 私の命の日記』(遠藤 和/著) 青森県立鱒ヶ沢高等学校 3年 神 楓真 『よるのばけもの』(住野 よる/著) 青森県立五所川原工科高等学校 2年 成田 寛人 『一瞬を生きる君を、僕は永遠に忘れない。』(冬野 夜空/著)

(2) 子どもの読書活動推進大会

広く県民が子どもの自主的な読書活動の意義や重要性について理解と関心を深め、家庭・地域・学校を通じた社会全体で子どもの読書活動を推進する機運の醸成を図るため、子どもの読書活動推進大会を開催した。

○日時：12/3 (土) 13:00～16:00

○場所：HOCコネクト (八戸市)

○参加者数：200名

○内容

ア 表彰式

令和4年度あおもりの中学生・高校生による『大切なあなたへ薦める青春の一冊』コンクール表彰式

イ 私のお薦めの一冊

ウ 講演

演題演題『読書って楽しい!』

講師：作家 辻村 深月

進行：フリーアナウンサー 境 香織

(3) 青森県子ども読書活動推進計画

「青森県子ども読書活動推進計画（第四次）」に基づき、読書に親しみ、自主的に読書活動をする子どもたちを育てるため、各教育事務所の協力の下、子どもの読書活動推進計画の未策定市町村に対し、計画策定が進むように働きかけを行った。

また、啓発小冊子「絵本で豊かな親子の時間」について編集委員会を開催し、第7版の改訂作業を行った。

いじめ防止キャンペーン推進事業

【趣 旨】

いじめ問題への理解と認識を深めるため、いじめ防止を内容とした標語を募集し、その優秀賞作品をテレビを通じて視聴者へ語りかけることにより、広く県民のいじめ防止に向けた意識の啓発を行う事業である。

【概 要】

(1) いじめ防止標語コンクール

小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校に在籍する児童生徒並びに一般県民から、いじめ防止を訴える標語を募集し、優秀賞6作品、審査員特別賞3作品を選定、表彰した。

○募集期間：6/6（月）～8/31（水）

○応募数：9,197作品（小学校5,614作品、中学校2,754作品、高等学校764作品、特別支援学校62作品、一般3作品）

○受賞作品

優 秀 賞	友だちを たすける人に おれはなる	青森市立新城小学校 2年 平山 楓大
	いじめゼロ 標語だけでは 終わらせない	中泊町立中里中学校 2年 三上 愛
	やさしさの たねをまいたら えがおさく	弘前市立岩木小学校 3年 平澤 莉緒
	いじめの芽 つんで笑顔の 種まこう	十和田市立三本木小学校 4年 畑山 理人
	気づいてる？ いじめと遊びの 境界線	むつ市立大平中学校 1年 木村 純々音
	思いやり みんなでもって いじめゼロ	県立八戸聾学校中学部 3年 松沢 宏人
審 査 員 特 別 賞	いじめてる その子も誰かの 宝物	つがる市立柏中学校 3年 中村 翔吾
	SNS 画面の向こうも 1人の人間	県立木造高等学校深浦校舎 3年 西崎 未空
	声かけで 心つながる なか間の輪	むつ市立脇野沢小学校 4年 大黒 鈴

(2) テレビCMの制作・放送

ア 令和3年度制作「いじめ防止キャンペーンテレビCM」を県内民放3局で放送（4/7～4/8、4/12、5/6、5/9～5/10、8/24～8/26、8/29～9/2、9/5、1/13、1/16～1/19）。

イ 令和4年度いじめ防止標語コンクール優秀賞作品を活用したテレビCMを制作し、県内民放3局で放送（3/22～3/24、3/27）。

特別支援学校における家庭教育支援事業

〔趣 旨〕

障害のある児童生徒の保護者等が、子どもの健やかな成長のために、障害のある児童生徒の心理や行動について理解を深め、家庭における教育や卒業後の就労などについて必要な知識を習得するとともに、同じ悩みを持つ保護者同士の交流や地域住民との交流を深める機会を提供する事業である。

〔概 要〕

開設校	回数	時間	参加者数	主な内容
青森第一養護学校	4	10	47名	パン作り体験、施設見学、フラワーアレンジメント体験、講話（食育～肢体不自由のある子どもたちの食事について～）
青森第二養護学校	4	10	26名	こぎん刺し教室、防災教室、果物狩り、先輩保護者との談話会
青森若葉養護学校	3	6	30名	施設見学、体験活動「多肉植物の寄せ植え」「フラワーアレンジ」
青森第一高等養護学校	1	1.5	8名	福祉に関する勉強会「障害福祉サービスの利用等について」
青森第二高等養護学校	4	9	70名	花植え、環境整備、茶話会、木製のカラトリー作り体験、二高養祭の準備、エアロビクスとりラクゼーション
県立盲学校	7	19	54名	運動会参加、地域の清掃活動参加、進路指導講話、触察・点字研修会、学校祭参加、点字ブロック理解啓発活動、主権者教育研修会
青森聾学校	3	5	76名	グラウンド整備、家族レクリエーション、コサージュ作り
浪岡養護学校	5	7	125名	陶芸体験「ランタン作り」、学校祭参加、ワークショップ「HSCって何だろう？」
弘前第一養護学校	2	7	41名	P T A施設見学会（卒業後の進路先の見学）、レジンのアクセサリ作り
弘前第二養護学校	7	10	95名	運動会観賞、親子レクリエーション、陶芸体験「ランタン作り」、福祉施設見学、弘二養祭参加、ランプシェード制作及び展示、クリスマスプレゼント贈呈
弘前聾学校	7	12	83名	親子レクリエーション、なかまの集い、地区研修会「こころとからだ元気になるピラティス」、陶芸体験「ランタン作り」、手話学習会、進路懇話会
八戸第一養護学校	3	10	12名	学校給食に関する研修会、焼き物教室、消費者教育について
八戸第二養護学校	4	8.5	67名	障害理解のための学習会、茶話会、体験学習会、給食についての学習会

開設校	回数	時間	参加者数	主な内容		
八戸盲学校	4	9	23名	保護者交流会（学校行事への協力）、保護者研修会「子どもの卒業後の生活についての知識を深める」、親子体験学習（もの作り、伝承文化活動）		
八戸聾学校	5	6	55名	P T A 奉仕作業（運動会装飾、清掃、扇風機清掃）、親子手話学習		
森田養護学校	3	6	32名	父母学習会（講演「前向きな子育てへのお手伝い～「み～んな」悩んで子育てしています～」 「子離れ・親離れ～自立と社会参加を目指した性教育～」）、森養祭への参加		
黒石養護学校	4	6	21名	黒石よされ講習会、陶芸体験「ランタン作り」、多肉植物の寄せ植え、コサージュ作り		
七戸養護学校	3	7	48名	福祉施設説明会、陶芸教室、県地区P 連研修会「子どもの自尊感情を育てる保護者の役割」		
むつ養護学校	5	13	117名	園芸教室、親子レクリエーション、父母学習会（進路に関する懇話会）		
八戸高等支援学校	2	4	77名	保護者に向けた進路情報提供・消費者教育		
合計	延べ回数	80回	延べ時間	166時間	参加者数合計	1,107名

学校を核とした地域づくり推進事業

【趣 旨】

地域学校協働本部の設置をこれまで以上に推進するために、多様な形態による地域学校協働本部のモデルを設置し、地域学校協働本部の普及を図るとともに、地域学校協働活動の理解及び更なる啓発を進める事業である。

【概 要】

(1) 地域との連携を担う教職員研修

地域との連携・協働の必要性や地域連携を担う教職員等としての役割、留意点等について研修を行った。

地区	期 日	場 所	参加者数
東 青	8/9 (火)	県総合社会教育センター	59名 (15名)
西 北	7/29 (金)	つがる市生涯学習交流センター「松の館」	42名 (6名)
中 南	7/4 (月)	弘前市中央公民館相馬館長慶閣	71名 (12名)
上 北	7/28 (木)	公立小川原湖青年の家	65名 (11名)
下 北	7/5 (火)	むつ来さまい館	27名 (3名)
三 八	7/7 (木)	南部町総合保健福祉センターゆとりあ	73名 (23名)

※参加者数の（ ）は、オンラインによる参加者数（内数）

- 対象 地域連携を担う教職員等（公立小・中学校及び県立学校教職員）、市町村教育委員会職員、地域学校協働活動推進員 等
- 内容 講義「社会に開かれた教育課程の実現に向けて～地域と学校とが共に築く子どもの未来～」
演習（模擬熟議） 「デザインしてみよう、地域と学校とが共に築く未来」

○講師 ゆめ☆まなびネット 代表 大谷 裕美子 (東青・三八)

福島県本宮市立本宮まゆみ小学校 前校長 安齋 宏之 (西北・中南・上北・下北)

(2) 学校と地域の連携・協働事例ハンドブック作成

地域学校協働本部未整備市町村において、それぞれの実情に応じた地域学校協働本部整備の参考に資すること、また、県域で地域学校協働活動の充実が図られることをねらいとして、学校と地域の連携・協働事例ハンドブック「地域学校協働活動ハンドブック実践編」を作成・配付した。

○構成 地域学校協働活動について

本書に掲載の地域学校協働本部の特徴

地域学校協働活動の実践事例

参考資料・様式集

○配付先 市町村教育委員会、県内小・中・高等・特別支援学校 等

○作成委員会委員 弘前大学教育学部 准教授 越村 康英 他6名

(3) 本部未設置市町村に対する設置サポート事業

ア 本部整備に向けた未設置市町村のサポート

地域学校協働本部未整備市町村の担当者等を対象に、地域学校協働本部整備に向けた相談対応、県内市町村における先進事例等の紹介、その他情報提供を行った。

○期間 通年

○内容 地域学校協働本部の整備及び地域学校協働活動の推進に向けた相談対応、先進事例等の紹介等

イ 学校を核とした地域づくり推進カンファレンスの開催

県域における地域学校協働活動の更なる充実を図るため、地域と学校の連携・協働が求められる背景やその意義、方策等についての講義、地域学校協働本部を整備することによる成果や課題についての事例紹介及び情報交換を行った。

○期日 2/9 (木)

○場所 県総合社会教育センター

○対象 市町村教育委員会職員 (地域学校協働活動担当者、コミュニティ・スクール担当者等)、小・中・高等・特別支援学校教職員、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター 等

○参加者数 115名 (うち、オンライン参加者14名)

○内容 基調講演「学校と地域が連携する意義とその方策」

講師 弘前大学教育学部 准教授 越村 康英

事例紹介・情報交換「学校と地域が連携・協働する、私たちの取組

～『地域学校協働活動ハンドブック実践編』から～」

発表者 鶴田町教育委員会社会教育班 班長 秋庭 誠一

つがる市教育委員会教育部社会教育スポーツ課 主査 高橋 和生

青森市浦町中学校区学校運営協議会CSディレクター 工藤 知久子

ファシリテーター 弘前大学教育学部 准教授 越村 康英

地域学校協働活動推進事業 (県事業)

[趣 旨]

地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する地域学校協働活動を継続的・安定的に実施する体制づくりを支援する事業である。

※「学校・家庭・地域連携協働推進事業」内

【概要】

(1) 会議の開催

県内における地域学校協働活動の総合的な在り方や、児童の放課後対策の諸問題について協議するとともに、市町村担当者を対象とした連絡会議を実施した。

ア 地域学校協働活動推進委員会

- 期日：1/30（月）
- 場所：県庁東棟5階 中会議室
- 委員

No.	氏名	所属等	備考
1	深作 拓郎	弘前大学教育学部 講師	委員長
2	會津 隆史	五所川原市立三輪小学校 校長	
3	神田 昌彦	弘前市立新和中学校 校長	
4	山子 泰典	青森県PTA連合会 会長	
5	大水 俊江	平内町地域学校協働活動推進員	
6	工藤知久子	青森市浦町中学校区学校運営協議会 CSディレクター	
7	秋庭 誠一	鶴田町教育委員会社会教育班 班長	
8	高田 真澄	六ヶ所村教育委員会社会教育課 社会教育主事	
9	夏井 幸子	八戸市福祉部子育て支援課 課長	
10	佐藤久仁子	裾野なかよし会 主任放課後児童支援員	
11	新山 大史	上北小学区放課後児童クラブ 主事	

イ 放課後子ども総合プラン市町村担当者連絡会議

- 期日：6/22（水）
- 場所：県総合社会教育センター 第1研修室及び第5研修室
- 対象：市町村放課後子ども総合プラン担当者（社会教育主管課及び福祉部局）
- 参加者数：44名

(2) 研修の実施

ア 地域学校協働活動推進のための研修【主管：県総合社会教育センター】

地域学校協働活動の推進に向けて、地域と学校が協働する仕組みづくりに関わる市町村教育委員会担当者や地域学校協働活動推進員等の資質向上を図った。

- 期日：6/2（木）
- 場所：県総合社会教育センター 第1研修室
- 対象：市町村教育委員会担当者、地域学校協働活動推進員、地域コーディネーター等
- 参加者数：52名
- 内容：講義「教員だけでは成し遂げることができなかった『奇跡の学校』の姿とは～コミュニティ・スクールの可能性～」

講師 文部科学省総合教育政策局 CSマイスター 小西 哲也

事例報告「青森県内各地の取組報告」

事例報告者 市町村教育委員会担当職員、市町村地域学校協働活動推進員

※会場・オンライン併用による実施

イ 放課後子ども総合プラン支援員等研修会【主管：各教育事務所】

放課後対策等に関わる地域人財を対象に、学習・体験活動等の企画・実施方策、安全管

理方策等の資質向上を図るための講義や、他の事業関係者等との情報交換・情報共有を図るため、合同の研修会を開催した。

○回数：12回

○対象：地域学校協働活動推進員等、協働活動支援員、協働活動サポーター、特別支援・共生社会サポーター、放課後児童支援員等

○参加者数：計803名

東青	前期	<p>【開催日】6/14(火)、15(水) 【会場】県総合社会教育センター 【参加者数】114名 【内容】講義・演習「特別な支援を要する子どもへの関わり方 ～地域における子どもたちの居場所として～」 特定非営利活動法人 夢 副理事長 前田 淳裕</p>
	後期	<p>【開催日】9/14(水)、15(木) 【会場】県総合社会教育センター 【参加者数】101名 【内容】講義・演習「子どもを育む豊かな遊びを支えるために ～コロナ禍での遊びの工夫～」 岩手県立児童館いわてこどもの森 チーフプレーリーダー 長崎 由紀</p>
西北	前期	<p>【開催日】6/3(金) 【会場】柏ふるさと交流センター「ハーモニー未来館」 【参加者数】96名 【内容】講義・演習「特別な配慮を必要とする子どもの理解と支援」 社会福祉法人あーると相談センター 相談員 今 幸子</p>
	後期	<p>【開催日】10/7(金) 【会場】柏ふるさと交流センター「ハーモニー未来館」 【参加者数】42名 【内容】講義・演習「子どもを育む豊かな遊びを支えるために ～コロナ禍での遊びの工夫～」 岩手県立児童館いわてこどもの森 チーフプレーリーダー 長崎 由紀</p>
中南	前期	<p>【開催日】7/12(火) 【会場】弘前市中央公民館相馬館長慶閣 【参加者数】90名 【内容】講義「発達障害の特徴と支援のヒント」 社会福祉法人あーると マネージャー 其田 真一 ※会場・オンライン併用による実施</p>
	後期	<p>【開催日】9/9(金) 【会場】弘前市中央公民館相馬館長慶閣 【参加者数】37名 【内容】実技研修「レッツエンジョイ 自然大好き」 梵珠少年自然の家 研修課長 新山 隆男 指導主事 山口 繁弥</p>
上北	前期	<p>【開催日】6/13(月) 【会場】公立小川原湖青年の家 【参加者数】66名 【内容】講義・演習「放課後の子どもたちの居場所づくりのために ～放課後子ども総合プランの意義と支援員の役割～」 弘前大学教育学部 講師 深作 拓郎</p>
	後期	<p>【開催日】10/7(金) 【会場】七戸町屋内スポーツセンター 【参加者数】92名 【内容】実技研修・講義「子どもの元気が、日本を元気に！ ～Let's Try! みんなで運動遊び!～」 一般社団法人 BLUE ties Impression 代表理事 川戸 元貴</p>

下北	前期	【開催日】6/14(火) 【会場】むつ市中央公民館 【参加者数】47名 【内容】講義「子どもや保護者とよりよい関係を築くために」 青森県発達障害者支援センターDoors センター長 分枝 篤史
	後期	【開催日】10/19(水) 【会場】むつ市中央公民館 【参加者数】37名 【内容】実技研修「遊びのマスターから学ぼう～新しい生活様式に配慮した運動遊び～」 NPO法人子どもネットワーク・すてっぷ 代表理事 奈良 陽子
三八	前期	【開催日】6/8(水) 【会場】八戸市福祉公民館 【参加者数】54名 【内容】講義・演習「子どもの理解を深める～気づきの窓をひろげる ＝子ども達も支援者も楽になる～」 三八教育事務所SC・SSW 公認心理師 社会福祉士 嶋野 知恵子
	後期	【開催日】10/4(火) 【会場】八戸市福祉公民館 【参加者数】27名 【内容】実技研修「どんぐりアート・どうぶつマグネット」づくり 種差少年自然の家 研修課 副課長 新田 隆 指導員 山内 哲

(3) 地域学校協働活動コーディネーターアドバイザーの配置

県内の地域学校協働活動を推進するため、地域学校協働活動に係るコーディネーターアドバイザーを配置し、市町村教育委員会との連絡調整、地域学校協働活動の理解促進、情報提供等を行った。

<主な活動実績>

◎情報提供等

○令和4年度西北地区社会教育委員連絡協議会研修会(6/24(金))

主催：西北地区社会教育委員連絡協議会

対象：西北地区の社会教育委員

○令和4年度東津軽郡小・中学校教頭会 第4回研修会(11/18(金))

主催：東津軽郡小・中学校教頭会

対象：東津軽郡の小・中学校教頭

◎情報発信 「みんながつながる地域学校協働活動便り」発行

第1号(8/8(月))、第2号(9/12(月))、第3号(10/26(水))、

第4号(12/7(水))、第5号(12/23(金))、第6号(2/27(月))

○市町村教委等へ配付

学校・家庭・地域連携協力推進事業費補助

【趣 旨】

市町村が行う地域学校協働活動の推進に要する経費について、県が補助を行う事業である。
※「学校・家庭・地域連携協働推進事業」内

【概 要】

地域学校協働活動（放課後子ども教室を含む）の取組を行う市町村（中核市の青森市及び八戸市を除く）に補助金を交付した。

【国庫補助1/3、県補助1/3、市町村負担1/3】

20市町村、地域学校協働本部32本部、放課後子ども教室62教室

平内町 今別町 外ヶ浜町 五所川原市 つがる市 鯨ヶ沢町 鶴田町 中泊町

弘前市 平川市 大鰐町 十和田市 三沢市 六戸町 おいらせ町 むつ市

風間浦村 佐井村 三戸町 五戸町

あおもり家庭教育支援総合事業

【趣 旨】

社会や家庭を取り巻く状況の変化に伴い、家庭教育が一層困難になっていることを踏まえ、全ての親が安心して家庭教育を行うために、今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するための協議を行い、地域全体で家庭教育を支援していく機運を高めるとともに、親の育ちを応援する学びの機会の充実や支援のネットワークづくり等を行う事業である。

【概 要】

(1) 青森県家庭教育支援推進協議会の開催

今日的課題に対応した家庭教育の取組を推進するため、本県の家庭教育支援事業及び家庭教育学習テキスト「あおもり親楽プログラム」の改訂について協議した。

○委員：10名

○回数：年3回

(2) 家庭教育学習テキスト「あおもり親楽プログラム」の作成・周知

家庭教育の学習を推進するため、「あおもり家庭教育アドバイザー」が活用する家庭教育の学習テキストを改訂した。また、「あおもり親楽プログラム」の活用促進を図るためのリーフレットを関係各所へ配布した。

○「改訂版 あおもり親楽プログラム3～支援者編～」の作成 1,800部

(3) 家庭を支える連携・協働セミナーの開催

家庭教育支援に携わる方が、予防的・早期対応型の家庭教育支援の体制構築の必要性、家庭教育の今日的な課題等について学習するとともに、互いのつながりを深める研修会を県内2地区で開催し、地域における家庭教育支援の充実を図った。

地区	期日	場所	参加者数	内容
上北	8/23(火)	十和田市東コミュニティセンター	30名	講演：「子どもが育つために、『私』にできること」 講師：八戸学院大学短期大学部 幼児保育学科 准教授 差波 直樹 事例発表：「紹介します、県内家庭教育支援チームの実践！」
下北	8/31(水)	(オンライン開催)	13名	発表者：五戸町家庭教育支援チーム (五戸町家庭教育応援隊) 代表 小宮 香

- (4) 青森県家庭教育支援ネットワーク形成研修会の開催
 社会全体で家庭教育を支援するため、家庭教育支援に関わる方々が一堂に会し、家庭教育の今日的な課題等について学習するとともに、家庭教育支援関係者等と市町村職員のつながりを深めた。
 ○期日：12/15（木）
 ○場所：県総合社会教育センター
 ○参加者数：49名
 ○内容：講義・演習「親子の未来を育むためにできること～家庭教育支援の『今』を考える～」
 講師 一般社団法人ジェイス 代表理事 武田 信子
- (5) あおもり家庭教育応援フェスタの開催
 地域が一体となって子どもたちを育むことについて学びを深める講演会、パネルトーク及び様々な家庭教育支援に関する情報提供等を通して、家庭教育についての理解と認識を深め、地域全体で家庭教育を支援する意義や必要性についての普及・啓発を行った。
 ○期日：10/1（土）
 ○場所：県総合社会教育センター
 ○参加者数：112名
 ○内容
 ア 講演「みんなで一緒にのびのび子育て
 ～今、もっとも必要なこれからの子ども・子育て支援～」
 講師 一般社団法人家族・保育デザイン研究所 代表理事 汐見 稔幸
 イ パネルトーク「今できる、わたしたちなりの子育て支援」
 パネリスト
 Happy Children Towada 新藤 幸子
 認定こども園百石幼稚園 園長 吉田 恵美
 子育てサークルPAPAHUG 代表 加藤 雄一
 一般社団法人家族・保育デザイン研究所 代表理事 汐見 稔幸
- (6) 祖父母向け孫育て研修会の開催
 県地域婦人団体連合会への委託により、県内2地区で研修会を開催し、家庭教育をサポートする祖父母を対象として、祖父母だからこそできる孫との関わり方等について学んだ。

地区	期日	場所	参加者数	内容
上北	9/26(月)	七戸中央公民館	56名	講演：「『祖父母向け孫育て』 ～今どきの孫育て～」 講師：（一社）青森県助産師会 孫育てチーム
下北	9/20(火)	大間町総合開発センター	45名	蛸名 えり子 宮本 由美子

- (7) 読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成
 県読書団体連絡協議会への委託により、読み聞かせの効果や家庭での読み聞かせの大切さを伝える「親子ふれあい読書アドバイザー」の養成と、読み聞かせ実践者のスキルアップを図る研修会を県内6地区で開催し、合計307名が受講した。そのうち、「親子ふれあい読書アドバイザー」を新たに10名登録した。（累計登録者数：513名）

地区	内 容
東青	<p>【期日】11/12(土) 【会場】蓬田村ふるさと総合センター 【参加者数】18名 【新規登録者数】3名</p> <p>【内容】○親子ふれあい読書アドバイザー研修 講師：青森市読書団体連絡会 中村 弘子</p> <p>○読み聞かせ研修会 講師：青森市読書団体連絡会 中村 弘子</p>
西北	<p>【期日】10/28(金) 【会場】五所川原市金木総合支所 【参加者数】47名</p> <p>【内容】○親子ふれあい読書アドバイザー研修 講師：お話サークルすずめっこ 代表 長尾 真紀子</p> <p>○読み聞かせ研修会 講師：おはなしるんるん 代表 齋藤 眞琴</p>
中南	<p>【期日】10/21(金) 【会場】スポカライン黒石 【参加者数】78名 【新規登録者数】1名</p> <p>【内容】○親子ふれあい読書アドバイザー研修 講師：津軽地区読書推進運動連絡会 理事 岩崎 眞里子</p> <p>○読み聞かせ研修会 講師：まわりみち文庫 店主 奈良 匠</p>
上北	<p>【期日】9/23(金・祝) 【会場】十和田市民文化センター 【参加者数】44名 【新規登録者数】1名</p> <p>【内容】○親子ふれあい読書アドバイザー研修 講師：語りの会「こま草」 阿部 智留恵、小野寺 功</p> <p>○読み聞かせ研修会 講師：語りの会「こま草」 会津 昭恵、藤森 順子 他2名</p>
下北	<p>【期日】9/10(土) 【会場】下北文化会館 【参加者数】26名</p> <p>【内容】○親子ふれあい読書アドバイザー研修 講師：青森大学社会学部 教授 秋田 敏博</p> <p>○読み聞かせ研修会 講師：青森大学社会学部 教授 秋田 敏博</p>
三八	<p>【期日】11/18(火) 【会場】八戸市福祉公民館 【参加者数】94名 【新規登録者数】5名</p> <p>【内容】○親子ふれあい読書アドバイザー研修 講師：J P I C読書アドバイザー 親子ふれあい読書アドバイザー 高嶋 敬子</p> <p>○読み聞かせ研修会 講師：青森県立図書館 主幹司書 奈良 容子 八戸市読書団体連合会 読書部会 会長 前田 敏子</p>

大学生とカタル！キャリア形成サポート事業 <社セ> (p.252)

高校生スキルアッププログラム推進事業 <社セ> (p.253)

青森で生きる未来人財育成事業 <社セ> (p.251)

青少年社会参加活動・創作活動モデル団体研究事業 <社セ> (p.254)

教員のためのチーム「学校・家庭・地域」連携講座 <社セ> (p.255)

あおもり家庭教育力向上事業 <社セ> (p.255)

家庭教育支援動画制作普及事業 <社セ> (p.258)

家庭教育相談事業 <社セ> (p.259)

子どもの読書活動推進のための図書セット貸出事業 <図書> (p.230)

県立梵珠少年自然の家主催事業 <梵珠> (p.237)

県立種差少年自然の家主催事業（自然と遊ぼう、子どもの祭典） <種差> (p.242)

自然体験活動支援事業 <種差> (p.243)

在学少年宿泊指導者研修 <種差> (p.243)

親子で学ぶ防災キャンプ事業 <種差> (p.244)

2節 活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成

- ア 地域活動の実践者、コーディネーターの養成
- イ 次代の地域を担う若者の育成
- ウ 地域活動に関わる人財のネットワーク形成の支援
- エ 多様な働き方を可能にする学び直しの機会の充実

「地域の思いをつなぐ」若者育成事業

【趣 旨】

高校生等の若者が、県内各地で活躍する地域活動者の地域活動の手法を学び、それを手本として、主体的に地域の活動の企画・実践を行うことにより、若者の自己有用感及び地域愛を育み、県内定着の促進を図る仕組みを構築する事業である。

【概 要】

(1) 若者と地域活動者による地域活動の企画・実践

ア 活動の企画・実践

高校生等の若者と地域活動団体による地域活動の企画・実践
・各地域活動団体への委託により実施（県内12団体）

市町村	委託団体名	活動概要
青森市	特定非営利活動法人 日本人財発掘育成協会	高校生がショートムービーを制作する体験や異年齢交流を行い、コミュニケーションやプレゼンテーションの力を磨くとともに、青森の魅力を発見し、動画で発信した。
青森市	青森街活サークル 秘密結社	街歩きや清掃活動、地域イベントへの参加により、地元地域にあるコンテンツ（ヒト、モノ、コト）の魅力を体感するとともに、地域参画についての意識の醸成を図った。
五所川原市	じゃわめき隊プロジェクト	地域の公共交通機関である五能線について理解を深め、魅力をさらに高めるために、「五能線魅力UPカード」の作成に取り組み、五能線沿線地域の魅力の発信と、沿線沿いにある高校との連携に努めた。
鶴田町	つるた街プロジェクト	高校生が事業構築のノウハウを学び、小学生対象のケーキデコレーションワークショップの企画・実践をとおして、地域への愛着を図った。
弘前市	特定非営利活動法人 SEEDS NETWORK	県外・海外で活躍している料理家・パティシエを講師に、人生のターニングポイントでどのような選択をしたか等の経験談を聞くことで、自身のライフプランを形成する意識の醸成を図った。
平川市	AsobolHirakawa	中高生が平川市で行われる朝活ヨガ等のイベントにスタッフとして関わり、その経験から自分たちで新たなイベントを企画・実践することにより、若者の主体性及び地域への愛着を育んだ。

市町村	委託団体名	活動概要
十和田市	Future Generations	「中高生×地域の本気の大人交流会」を開催し、普段接することのない地元で活躍している大人との対話をとおして、地域への愛着を図り、職業観を養った。
三沢市	Misawa English Activities	高校生が地域の大人や外国人と交流し、街歩き等を行うことで、地域の魅力を再発見し見つめ直すきっかけにするとともに、地域愛を育み、自己有用感を高めた。
むつ市	NPO法人シェルフォレスト川内	むつ市川内町近隣に住む高校生が、住民に対して町の暮らしや歴史、人生観等についてインタビューし、町や住民の魅力について記事にまとめながら、その様子をSNS等で発信した。
東通村	東通YOUTH	東通村在住の高校生が、村内イベントの「東通ドン！とボン・盆フェスタ」に参加するだけでなく、自分たちで新たに「村民ボンボン盆踊り及び仮装コンテスト」を企画・運営することにより、地域の良さについて再発見した。
八戸市	市民集団まちぐみ	南部せんべいの新たな魅力を探るため、南部せんべいを高校生の感性と新しい視点から考察・検証するワークショップを行い、「今後の南部せんべい」をキーワードにした企画を考え、実施した。
三戸町	サンノヘール	高校生が行政、民間企業と協働で地域の特産品を使ってフィリピンのスイーツ「タホ」の三戸町版を開発するプロジェクトに挑戦し、地域の大人とつながりを形成することで、地元定着のきっかけを作った。

(2) 活動成果発表会の開催

ア 各地域活動団体が行ってきた活動成果の発表会を開催した。

開催日：2/5（日）

場 所：県総合社会教育センター

参加者：121名

イ 活動事例集の作成・配付

取組内容をまとめた活動事例集を作成し、県内の中学校・高等学校、特別支援学校、市町村教育委員会、市町村地域づくり担当課等に配布し、実際に地域の若者と地域活動者が活動する際の参考とした。

若者の社会参加促進事業

【趣 旨】

若者の社会参加を促進することを目的に、地域の青年組織、または新たに活動を始めようとする若者団体（以下、「若者団体等」）が企画立案する地域の課題等を踏まえたモデル事業を実施する事業である。

また、ひきこもりやニート等の課題を抱える若者の社会参加を促進することを目的として、就労体験や自然体験活動を実施する事業である。

【概 要】

(1) 若者の社会参加促進事業プランの実践

若者団体等の地域活動への参加や若者同士関わり、地域のつながりを形成するモデル事業プランを実施した。

<研修会の開催>【株式会社いーとBOXへ委託】

(東青地区)

第1回研修会

○期日：10/28（金） ○会場：奥津軽社中合同会社 ○参加者数：7名

○内容：事業内容・実践活動内容についての説明、メンバーの参集方法・団体の立ち上げ方について

第2回研修会

○期日：11/9（水） ○会場：オンラインにて実施 ○参加者数：7名

○内容：団体の組織について、会則・活動計画・実施計画書の作成について

(上北地区)

第1回研修会

○期日：10/11（火） ○会場：t h i r d ○参加者数：7名

○内容：事業内容・実践活動内容についての説明、メンバーの参集方法・団体の立ち上げ方について

第2回研修会

○期日：10/19（水） ○会場：オンラインにて実施 ○参加者数：7名

○内容：団体の組織について、会則・活動計画・実施計画書の作成について

両地区合同プランの企画・実践発表会

○期日：2/19（日） ○会場：アップルドーム内コワーキングスペースSANNOME

○参加者数：13名

○内容：事業・実践団体による実践事例発表、参加者全員による情報交換会

○講師：サンノヘエール 代表 五十嵐 淳

実践発表者：今別再発見！プロジェクト 代表 周布 祐馬

地域の場づくりラボ 代表 佐藤 佑志

<企画事業の実践>

(東青地区)【今別再発見！プロジェクトへ委託】

○期日：11/19（土）～20（日） ○会場：海峡の家ほろづき ○参加者数：4名

○内容：移住希望の若者に対し、団体で企画した事業プランを実践する場として、今別町内の食や歴史、文化の体験をするモニターツアーを企画し、実施した。

① まち歩き 海峡の家ほろづきから袋月海雲洞までの約5キロ（袋月地区一帯）の散策を行い、地域の歴史や文化を学んだ。

② 袋月地区にある昆布加工『袋月海宝』で、昆布の加工体験（あらめの袋詰め）を行った。

- ③ 茶めし調理体験を海峡の家ほろづきで行い、各自が作った料理を夕食として試食した。
- ④ 茶めし調理体験の講師から頂いた、ツブ貝の身取り作業及びもずくの塩抜き加工作業を体験した。
- ⑤ 地域を題材とした番組“寝月物語”を視聴した。

(上北地区) 【地域の場づくりラボへ委託】

○期日：2/8(水) ○会場：t h i r d

○参加者数：24名(会場10名とオンライン14名)

○内容：地域に関係する気になる人、気になること、気になる活動をピックアップして、そこにある気になるストーリーや思想などの根源に迫り、参加者の方々と知見を共有し、つながりづくりを行う会を企画し、実施した。

ゲストに場所に捉われない働き方を活かして、東北地域のクリエイターコミュニティ「WACOBESSE」の運営や岩手県八幡平市で定期的なワーケーション企画「八幡平ワーケーション」の企画・運営、仙台市内の荒町商店街サポーターなど、広域な活動から地域に根ざした活動まで行っている岩村ご夫妻「WACOCREATE」(和哉さんが動画制作、優香さんがWEB制作を行っているクリエイターの夫婦)を迎え、お互いのコミュニティ運営に関する課題やこれからの活動について参加者と考えるイベントを行った。

(2) 困難を抱える子ども・若者支援

不登校が続いている高校生やひきこもり・ニート等の課題を抱える状況にあり、社会とのつながりへのきっかけを求めている16歳～概ね40歳の若者を対象に、自然体験・交流塾を種差少年自然の家、梵珠少年自然の家等にて、それぞれ3回ずつ実施した。ただし、第3回の梵珠会場については、参加希望者が0名だったため、中止となった。

<梵珠会場>

第1回自然体験・交流塾

○期日：6/25(土) ○会場：梵珠少年自然の家 ○参加者数：3名

○内容：火おこし体験、野外炊事、創作活動 他

第2回自然体験・交流塾

○期日：9/3(土) ○会場：梵珠少年自然の家 ○参加者数：3名

○内容：自然ふれあいハイイク、創作活動 他

<種差会場>

第1回自然体験・交流塾

○期日：7/16(土) ○会場：種差少年自然の家 ○参加者数：19名

○内容：火おこし体験、せんべい焼き、ニュースポーツ 他

第2回自然体験・交流塾

○期日：9/17(土) ○会場：種差少年自然の家等 ○参加者数：18名

○内容：サンドクラフト、創作活動 他

第3回自然体験・交流塾

○期日：2/18(土) ○会場：種差少年自然の家 ○参加者数：13名

○内容：就労体験・ボランティア活動、創作活動 他

<自然体験・交流塾協力団体等連絡会議>

第1回自然体験・交流塾協力団体等連絡会議(梵珠会場)

○期日：6/7(火) ○会場：ヒロロ3階 多世代交流室 ○参加者数：11名

○内容：事業説明、第1回自然体験・交流塾の詳細確認、各支援機構との個別打合せ

第1回自然体験・交流塾協力団体等連絡会議（種差会場）

○期日：7/1（金） ○会場：種差少年自然の家 ○参加者数：12名

○内容：事業説明、第1回自然体験・交流塾の詳細確認、各支援機構との個別打合せ

第2回自然体験・交流塾協力団体等連絡会議（梵珠会場）

○期日：2/7（火） ○会場：梵珠少年自然の家 ○参加者数：6名

○内容：参加者の成長と成果、運営における成果や検討すべき課題等について

第2回自然体験・交流塾協力団体等連絡会議（種差会場）

○期日：3/6（月） ○会場：種差少年自然の家 ○参加者数：10名

○内容：参加者の成長と成果、運営における成果や検討すべき課題等について

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業（再掲）

(P156 (1) 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成に掲載)

パワフルA OMORI！創造塾 <社セ> (p.250)

地域の今と未来をつなぐ教育支援活動コーディネーター等研修 <社セ> (p.259)

生涯学習・社会教育関係職員研修講座 <社セ> (p.260)

3節 生涯を通じた学びと社会参加の推進

- ア 高齢者や障害者を始めとする多様なニーズに応じた学びの機会の充実
- イ 学習成果を生かした社会参加活動の支援

特別支援学校を活用した生涯学習講座開設事業

【趣 旨】

県民の生涯学習推進と開かれた学校づくりの促進を目的として、県立学校（特別支援学校）の有する専門性の高い教育機能を開放する事業である。

【概 要】

学 校 名	期 間	日数 (回数)	内 容	受講者数 (延数)
県立青森聾学校	6～9月	7日 (7回)	手話講座	16名 (88名)
県立盲学校	7月	1日 (2回)	視覚障害者への支援と点字入門	10名 (19名)

障害者の生涯学習支援事業

【趣 旨】

自立と社会参加を支援し社会性の向上を目指すことを目的として、集団生活や趣味の講座、障害者スポーツを通して他の卒業生や在校生、地域住民等と交流する機会を提供する事業である。

【概 要】

(1) 社会参加学習

開 設 校	回数	時間	参加者数	主な内容		
県立青森第二養護学校	4	10	178名	情報交換、レクリエーション、ボウリング教室、スポーツ体験、会報の発行		
県立青森若葉養護学校	1	6	13名	体験を広げる校外学習（入級生、職員、地域の方との交流）		
県立青森第一高等養護学校	1	15	41名	めいせい祭参加（在校生、卒業生、保護者、職員との交流）		
県立青森第二高等養護学校	4	14	268名	情報交換、レクリエーション、学校祭参加（展示及び模擬店見学、作業体験）、ボウリング		
県立盲学校	1	4	4名	学校祭参加（発表の観賞、運営の手伝い）		
県立浪岡養護学校	1	2	8名	同窓会、二十歳を祝う会		
県立弘前第一養護学校	1	3	23名	会員相互の近況報告、記念撮影		
県立八戸第二養護学校	1		300名	書面による近況報告（8～12月）		
県立八戸盲学校	2	8	24名	箏教室、スポーツ体験活動（グランドソフトボール競技並びにサウンドテーブルテニスの選手の発掘・育成のための体験会）		
県立森田養護学校	2	6	57名	Zoom講座、ハーバリウムの制作、二十歳のお祝い		
県立黒石養護学校	1	3	49名	自己紹介、映画観賞		
県立七戸養護学校	2	4	81名	同窓会レクリエーション、成人を祝う会		
県立むつ養護学校	4	7	460名	卒業生のお知らせ、卒業生スポーツ交流会		
合 計	延べ回数	25回	延べ時間	68.5時間	参加者数合計	1,506名

(2) スポーツ体験交流

実施日	開催場所	参加者数	内 容
7/31 (日)	県立青森第一高等養護学校	28名	ボッチャ教室
11/26 (土)	県立青森若葉養護学校	36名	ニュースポーツ教室
12/17 (土)	県立青森第二養護学校	32名	ボッチャ、フライングディスク教室
合 計	開催回数 3回		参加者数合計 96名

元気青森人を創造するeラーニング推進事業 <社セ> (p.251)

学習情報の収集・提供事業 <社セ> (p.262)

ボランティア関係機関職員養成講座 <社セ> (p.261)

青森県視聴覚ライブラリー運営事業 <社セ> (p.262)

あおもり県民カレッジの運営業務 <社セ> (p.263)

インフォメーションプラザありすの運営 <社セ> (p.265)

読書バリアフリー推進事業 <図書> (p.230)

近代文学館 特別展開催事業 <図書> (p.230)

近代文学館 企画展開催事業 <図書> (p.231)

アウトリーチサービス推進事業 <図書> (p.232)

4 節 社会教育推進のための基盤整備

- ア 社会教育推進体制の充実
- イ 社会教育施設の機能の充実と活用の促進
- ウ 社会教育関係職員の養成と資質の向上
- エ 社会教育関係団体等の活動の支援

生涯学習推進基盤整備事業（生涯学習推進本部、青森県生涯学習審議会）

【趣 旨】

生涯学習振興法（生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律）の趣旨を踏まえ、本県の生涯学習推進体制を整備していくため、生涯学習推進本部等を運営する。また、生涯学習推進に資する施策の総合的な推進に関する重要事項について調査、審議するため、生涯学習審議会を運営する。

【概 要】

(1) 生涯学習推進本部

生涯学習に関する関係部局相互の連携、協力を図り、生涯学習関連施策を一体的、効果的に進めるため、県の関係各課、出先機関等が実施する生涯学習関連事業について調査を行い、結果を取りまとめる。

(2) 青森県生涯学習審議会

ア 第15期青森県生涯学習審議会

○委員：15名

○任期：2年（R2/10/19～R4/10/18）

○諮問：「青森県における新しい時代の生涯学習・社会教育の推進の在り方について」

○審議テーマ：「多様な人々のつながりと新しい技術の活用による生涯学習・社会教育の推進について」

○会議等の概要：第6回審議会 6/29（水） 答申案（素案）について

第7回審議会 9/13（火） 最終答申案について

答申書提出 10/7（金） 会長から県教育長へ提出

イ 第16期青森県生涯学習審議会

○委員：15名

○任期：2年（R4/10/19～R6/10/18）

○諮問：「障害者の生涯学習の推進方策について」

○審議事項：1「障害者の多様な学習活動の充実」

2「障害の有無にかかわらず共に学ぶ場づくり」

3「障害者の学びを推進するための基盤の整備」

○会議等の概要：第1回審議会 11/21（月） 諮問内容について

第2回審議会 2/13（月） 障害者の生涯学習に関する推進方策に係る現状や課題等について

生涯学習・社会教育総合調査研究事業

〔趣 旨〕

本県における生涯学習・社会教育の推進を図るための基礎資料を得ることを目的として、生涯学習・社会教育支援体制に関する調査を行う。

〔概 要〕

障害者本人1,590人を対象にアンケート方式による調査を行い、その結果を分析し、報告書にまとめる。

- 調査テーマ：「障害者の生涯学習に関する実態調査」
- 調査対象：1,590人
(内訳) ・特別支援学校高等部、高等支援学校生徒 661人
・障害者支援施設、障害福祉サービス事業所等利用者 607人
・企業等に雇用されている障害者 322人
- 有効回答：800人 (50.3%)
- 顧問の委嘱：調査研究に係る指導助言のため、大学教授等に研究顧問を委嘱する。
弘前大学教育学部 准教授 越村 康英
八戸学院大学健康医療学部 講師 大木 えりか
- 報告書：135部を印刷し関係機関に配付した。

青森県社会教育委員の運営

〔趣 旨〕

社会教育法第17条に基づき、本県社会教育の振興方策について審議及び調査研究を行い、県教育委員会に答申、建議を行う。

〔概 要〕

- (1) 第35期青森県社会教育委員
 - 委員：8名 ※青森県生涯学習審議会委員との兼務
 - 任期：2年 (R2/10/19～R4/10/18)
 - 調査研究テーマ：「地域全体で子どもを育む家庭教育支援の在り方について」
 - 会議等の概要：第6回会議 5/23 (月) 答申案(素案)について
第7回会議 7/25 (月) 最終答申案について
- (2) 第36期青森県社会教育委員
 - 委員：8名 ※青森県生涯学習審議会委員との兼務
 - 任期：2年 (R4/10/19～R6/10/18)
 - 調査研究テーマ：「障害者の生涯学習の推進方策について」
 - 会議等の概要：第1回会議 11/21 (月) 議長・副議長選出

市町村の社会教育に関する現状調査及び「青森県の社会教育行政」の作成

〔趣 旨〕

本県社会教育施策の企画・立案の資料作成を目的として、各市町村における社会教育事業実施状況及び社会教育施設・社会教育関係職員・生涯学習推進体制の状況等について調査する事業である。

〔概 要〕

- (1) 市町村の社会教育行政調査
- (2) 市町村の生涯学習推進体制等の状況に関する調査
- (3) 「令和4年度青森県の社会教育行政」の作成配付 (550部作成)

社会教育主事有資格者育成派遣事業

【趣 旨】

社会教育指導体制の充実を図り、社会教育主事有資格者を育成することを目的として、教育事務所等の指導主事、小・中学校の教員を社会教育主事講習に派遣する事業である。

【概 要】

○派遣研修：社会教育主事講習（秋田県生涯学習センター）

○研修期間：7/25（月）～8/19（金）

派遣者数：中学校教員1名、県教育委員会主任指導主事2名及び指導主事2名

生涯学習専門講座派遣事業

【趣 旨】

生涯学習の振興において中核的な役割を果たす専門的職員を育成することを目的として、関係職員を中央研修に派遣する事業である。

【概 要】

(1) 社会教育主事専門講座

研修期間：11/10（木）～11/11（金）、11/14（月）～11/15（火）

派遣者数：県生涯学習課 社会教育主事1名

(2) 地域教育力を高めるボランティアセミナー

受講者なし

※(1), (2)ともに国立教育政策研究所社会教育実践研究センター主催

社会教育主事等一般研修

【趣 旨】

県社会教育関係職員が一堂に会し、県の社会教育行政の方針と重点について研修と情報交換を行い、職務遂行能力のスキルアップを図る。

【概 要】

○研修会の開催：第1回 4/28 県総合社会教育センター

第2回 10/21 県総合社会教育センター

第3回 2/28 県総合社会教育センター

在学青少年育成費補助事業

〔趣 旨〕

青少年教育の機会拡充をより一層図ることを目的として、県内の在学青少年（高校生）を対象とした講演会事業に対して助成を行う事業である。

〔概 要〕

主に東京及びその近郊に在住する青森県出身者並びに青森県にゆかりのある方々を講師として県内高校に派遣する講演会事業に対する助成。

開催日	場 所	参加生徒数	内 容
9/6(火)	向 陵 高 等 学 校	138名	演題 「夢をおいかけよう」 講師 早稲田大学スポーツ科学部 教授 葛西 順一
	千 葉 学 園 高 等 学 校	351名	
9/21(水)	県立五所川原工業高等学校 県立五所川原工科高等学校	459名	演題 「石油開発サラリーマンの転勤人生」 講師 エスケイ産業株式会社 代表取締役社長 前田 亘
9/22(木)	五 所 川 原 商 業 高 等 学 校	195名	
10/28(金)	県 立 七 戸 高 等 学 校	299名	演題 「チャンスの掴み方」 講師 株式会社コミット 代表取締役 天間 晃彦
	県 立 十 和 田 西 高 等 学 校	31名	

社会教育を核とする地域ネットワーク活用促進事業（再掲）

(P156 1節 学校・家庭・地域の協働による未来を担う人財の育成に掲載)

生涯学習・社会教育関係職員研修講座(再掲) <社セ> (p.260)

(P172 2節 活力ある持続可能な地域づくりに向けた人財の育成に掲載)

ボランティア関係機関職員養成講座 <社セ> (p.261)

(P177 3節 生涯を通じた学びと社会参加の推進に掲載)

県立図書館資料整備 <図書> (p.232)

市町村立図書館等職員研修事業 <図書> (p.233)

3章 施設と職員の状況

1節 社会教育施設の状況

1 公民館

(1) 公民館の設置状況

令和4年4月1日現在

区 分	本 館			分 館
	中央館	地区館	計	
市 計 (10)	13	80	93	51
町 村 計 (30)	25	50	75	53
合 計	38	130	168	104

2 図 書 館

(1) 公立図書館の設置・蔵書の状況

令和4年4月1日現在

No.	施 設 名	蔵書冊数 (冊)	No.	施 設 名	蔵書冊数 (冊)
1	青森県立図書館	983,490	18	平川市平賀図書館	99,468
2	青森市民図書館	1,046,636	19	平川市尾上図書館	46,977
3	弘前市立弘前図書館	557,349	20	平内町立図書館	50,417
4	弘前市立岩木図書館	本館に含む	21	藤崎町図書館大夢	68,851
5	八戸市立図書館	449,556	22	板柳町民図書館	30,690
6	八戸市図書情報センター	6,034	23	中泊町図書館	58,177
7	八戸市立南郷図書館	62,415	24	野辺地町立図書館	91,445
8	五所川原市立図書館	124,392	25	七戸中央図書館	33,805
9	五所川原市立図書館金木分館	6,471	26	六戸町立図書館	29,956
10	五所川原市立図書館市浦分館	2,852	27	横浜町民図書館	19,870
11	十和田市民図書館	186,739	28	東北町立図書館	53,312
12	三沢市立図書館	130,353	29	六ヶ所村民図書館	48,072
13	むつ市立図書館	160,811	30	おいらせ町立図書館	70,732
14	むつ市立図書館川内分館	7,314	31	三戸町立図書館	47,162
15	むつ市立図書館大畑分館	8,397	32	五戸町図書館	117,955
16	むつ市立図書館脇野沢分館	4,760	33	田子町立図書館	37,101
17	つがる市立図書館	106,637			

3 青少年教育施設

令和4年4月1日現在

No.	施設名	所在地			
		〒	住所	TEL	FAX
1	青森県立 梵珠少年自然の家	037-0611	五所川原市神山字殊ノ峰 117-602	0173-29-3303	0173-29-3306
2	青森県立 種差少年自然の家	031-0841	八戸市鮫町字膳並平2-26	0178-38-2131	0178-38-2727
3	むつ市 下北自然の家	039-4401	むつ市大畑町佐助川399	0175-34-6151	0175-34-6152
4	公立小川原湖 青年の家	039-2402	上北郡東北町大浦字道ノ下 104-6	0176-56-2393	0176-56-5042
5	公益財団法人青森県スポーツ協会 岩木青少年スポーツセンター	036-1345	弘前市常盤野字湯段菴1-2	0172-83-2338	0172-83-2732
6	青森市 浪岡細野山の家	038-1322	青森市浪岡大字細野字沢井 37-3	0172-62-3129	同左
7	平内町 勤労青少年ホーム	039-3321	東津軽郡平内町大字小湊字 小湊79-3	017-755-3945	-
8	深浦町 ふれあいと創造の館	038-2202	西津軽郡深浦町大字岩崎字 松原51-7	0173-77-2111	-
9	黒石市 スポーツ交流センター	036-0306	黒石市大字内町24-1	0172-53-1612	-
10	野辺地町 勤労青少年ホーム	039-3112	上北郡野辺地町字中道 20-1	0175-64-9657	-
11	横浜町 烏帽子平自然の家	039-4154	上北郡横浜町字明神平138	0175-78-2084	-
12	大間町 勤労青少年ホーム	039-4601	下北郡大間町大字大間字 大間平41-7	0175-37-4346	-
13	三戸町 勤労青少年ホーム	039-0141	三戸郡三戸町大字川守田字 関根4-1	0179-22-0173	0179-20-1085

2 節 社会教育関係職員の状況

1 社会教育関係職員

(1) 社会教育委員の委嘱状況

令和4年4月1日現在

区 分	定員数 (人)	現 員 数 (人)			委員委嘱数 (人)			
		計	男	女	学校教育 関係者	社会教育 関係者	家庭教育 の向上 に資する 活動 を行う者	学 識 経験者の ある者
県	12	8	5	3	1	4	1	2
市 計 (10)	115	109	70	39	18	50	16	24
町村計 (30)	280	232	141	91	41	89	29	73
合計	407	349	216	133	60	143	46	99

(2) 教育委員会事務局の社会教育関係職員数 (人)

令和4年4月1日現在

区 分	課 長		社会教育主事		派遣社 会教育 主 事	社会教育主事補		社 会 教 育 指 導 員	計
	専任	兼任	専任	兼任		専任	兼任		
県	1	0	20	5	-	0	0	0	26
市 計 (10)	10	2	1	12	0	0	0	1	26
町村計 (30)	4	26	6	18	0	0	0	5	59
合計	15	28	27	35	0	0	0	6	111

2 公 民 館

(1) 公民館職員数（人）

令和4年4月1日現在

区 分		市(10)計	町村(30)計	合 計		
本 館	中央館	館 数	13	25	38	
		館 長	専 任	4	0	4
			兼 任	8	23	31
			非常勤	1	0	1
		主 事	専 任	15	0	15
			兼 任	6	16	22
			非常勤	12	0	12
		その他	専 任	27	15	42
			兼 任	17	55	72
	非常勤		40	18	58	
	地区館	館 数	80	50	130	
		館 長	専 任	1	3	4
			兼 任	3	23	26
			非常勤	76	11	87
		主 事	専 任	1	0	1
兼 任			0	2	2	
非常勤			126	0	126	
その他		専 任	20	6	26	
		兼 任	23	26	49	
	非常勤	34	12	46		
分 館	館 数	51	53	104		
	館 長	専 任	0	15	15	
		兼 任	4	3	7	
		非常勤	47	35	82	
	主 事	専 任	0	0	0	
		兼 任	12	0	12	
		非常勤	0	19	19	
	その他	専 任	0	0	0	
		兼 任	0	0	0	
非常勤		31	13	44		

(2) 公立図書館等職員数の状況

令和4年4月1日現在

No.	施設名	職員数						
		専任	うち 司書	兼任	うち 司書	非常勤 職員	臨時 職員	委託派遣 職員
1	青森県立図書館	23	11			15		
2	青森市民図書館	26	7			3		48
3	弘前市立弘前図書館	5		2		14		23
4	弘前市立岩木図書館							3
5	八戸市立図書館	14	8			199		
6	八戸市図書情報センター							6.8
7	八戸市立南郷図書館							7.6
8	五所川原市立図書館	9	4				1	
9	五所川原市立図書館金木分館(本館を含む)							
10	五所川原市立図書館市浦分館			3				
11	十和田市民図書館	7	2			4.2		1.4
12	三沢市立図書館							12.3
13	むつ市立図書館	7	2			14		
14	むつ市立図書館川内分館			2		1		
15	むつ市立図書館大畑分館			1		4		
16	むつ市立図書館脇野沢分館			2		2		
17	つがる市立図書館							9
18	平川市平賀図書館	4	1	2				
19	平川市尾上図書館	1		1		2		
20	平内町立図書館			1		2		
21	藤崎町図書館大夢							6.4
22	板柳町民図書館			2			1	
23	中泊町図書館			5	1		1	
24	野辺地町立図書館	1	1	2		4		
25	七戸中央図書館	1	1	1		1	1	
26	六戸町立図書館			3				3
27	横浜町民図書館			7			1.8	
28	東北町立図書館	1	1			4		
29	六ヶ所村民図書館							6
30	おいらせ町立図書館							6
31	三戸町立図書館	1		1				4
32	五戸町図書館	2				1.2		3.9
33	田子町立図書館	1	1	5		1		